

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(緊急時対策所の地震応答計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/19	NS2-補-024-01	補足説明資料	原子炉建物の地震応答計算書に関する補足説明資料	P.1289, 1290	緊急時対策所の工認基本ケースの減衰定数の設定の考え方を説明すること。	今回回答	緊急時対策所の減衰定数を5%とする妥当性について確認していますが、新設建物であること及び基準地震動Ssに対する応答が概ね弾性範囲にあることを踏まえ、耐震性向上の観点より、念のため減衰定数を3%とした場合の地震応答解析を実施した結果、応答値が減衰定数5%の場合と概ね同程度であること及び設計用地震力に包絡されていることから、工認基本ケースの減衰定数を5%とします。	NS2-補-024-05「緊急時対策所の地震応答計算書に関する補足説明資料」別紙4(通し頁P.160~177)	コメント移動